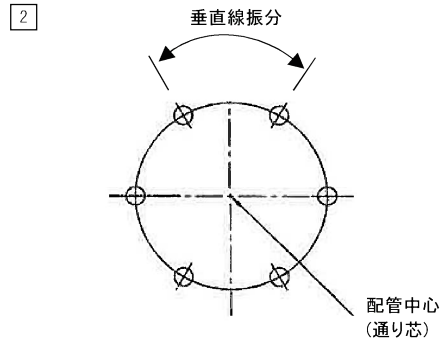
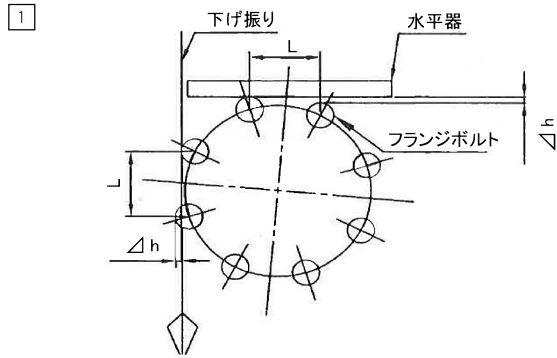


仕切弁の施工チェックシート(フランジ形式の場合)

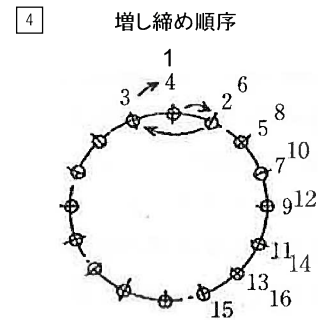
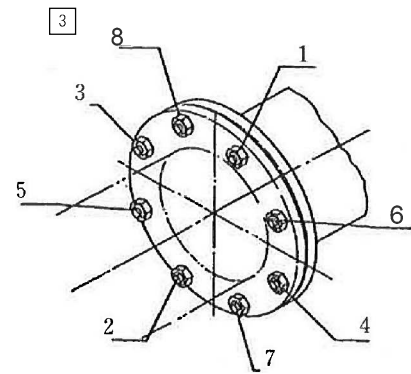
工事名称: _____

年 月 日

主任技術者



管(弁)番号(N0)				-
管の種類/呼び径	/	/	/	-
弁の種類/呼び径	/	/	/	-
設置面の整正				-
芯出しの確認 ※1				1
フランジ面の平行度・倒れの精度(Δh) ※2				2
ボルト穴の位置・数の確認				2
清掃・異物の除去				-
弁の開閉状態 ※3				-
絶縁ボルト・ナットの使用の有無				-
フランジガスケットの確認				-
ボルト ※4	トルクの確認	①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		3 4
		⑥		
		⑦		
		⑧		
継手施工者				-
継手確認者 ※5				-
判定				-



締め付けトルク

ボルトの呼び	締め付けトルク (N・m)
M16	60
M20	90
M22	120
M24	180
M30	330
M36	500

判定基準 ※1 弁と配管の中心線(通り芯)が同一直線上になっているかを確認する。
 ※2 フランジの倒れ目標値: $\Delta h/L \leq 1/1000$ として、倒れ目標値が $1/1000$ を超えると弁の取付が困難となるので注意する。
 ※3 弁の据付時点では、原則として閉状態とする。
 ※4 表の締め付けトルクによる。ただし、メカニカル継手形状の弁の場合は、その継手形式によるチェックシートを用いること。
 ※5 継手の確認は、選任した配置配管技能者が行うこと。